

441 年貢ねんぐの納め時おさどき

442 熨斗のしを付つける

443 喉のどから手てが出でる

444 乗のりかかつた船ふね

445 歯はが浮うく

446 歯はが立たたない

447 箔はくが付つく

448 白紙はくしに戻もどす

449 拍車はくしゃを掛かける

450 薄氷はくひょうを踏ふむ

451 箸はしにも棒ぼうにも掛かからない

452 蜂はちの巣すをつついたよう

453 八方塞はっほうふさがり

454 鼻息はないきが荒あい

455 話はなしに花はなが咲さく

456 鼻はなであしらう

457 鼻はなに掛かける

458 鼻はなに付く

459 鼻持はなもちならない

460 鼻はなを明あかす